

# JFEトンボみち ファンクラブ通信

2016年 8月号

## 「トンボはどこまで飛ぶか調査2016」に参加しました！

今年も8月1日(月)から1週間、鶴見区と神奈川区の京浜臨海部に点在する緑地やビオトープで「トンボはどこまで飛ぶかフォーラム」主催のトンボ捕獲調査が行なわれました。

JFEトンボみちでは、  
8月1日(月)～3日(水)の3日間行なわれ、  
4種類、38頭が新規捕獲され、  
マーキングの後、再び大空へと放たれました。



▲ 捕獲されてもサンカクイを放さない  
シオカラトンボ♂(8月3日)



調査風景(8月2日)



▲ 神奈川土木事務所の方と  
横浜国大の学生さん(8月2日)

調査実績(3日間で)	今年	去年
シオカラトンボ	22頭	43頭
ショウジョウトンボ	8頭	10頭
ウスバキトンボ	5頭	2頭
オオシオカラトンボ	0頭	1頭
ギンヤンマ	0頭	1頭
ネキトンボ	3頭	0頭
<b>トンボみちの合計</b>	<b>38頭</b>	<b>57頭</b>

上位3種類はこの常連のトンボたちですが、  
ネキトンボが珍しく捕獲されました。

## トンボの水はきれいかな? ~ 簡易測定8月3日 ~



トンボ池と井戸の水質を、市販の検査セットを用いて簡易チェックしてみました。昨年秋にチェックした時はほとんど無色でしたが、今回は薄い濁りがあります。測ってみると、池と井戸の科学的酸素要求量(COD)、井戸のアンモニア、リンの値が少し多くなっていました。念のため、井戸の内部清掃を実施してもらうことに致します。(銀)



# 【連載9】続・トンボ百科 ～ドラゴンフライと呼ばないで！？～

## ⑨トンボは欧米で何と呼ばれているのか？

欧米では、トンボ全体はひとくくりに**ドラゴンフライ**と呼ばれる。だが、イトトンボなどの均翅亜目は、その可憐さ故にか、さらに区別して**ダムセルフフライ**(damselfly:乙女)と呼ばれたりもする。また、ドラゴンフライの中も、**ハリボシヤンマ**の仲間を**ホーカー**(hawker:鷹匠)、**シオカラトンボ**や**ヨツボシトンボ**の仲間を**スキマー**(skimmer:表面すれすれを過ぎる者)、**チェイサー**(chaser:追跡者)、あるいは**ダーター**(darter:すばしっこい奴)と呼んでいる。厳密にどこで区分けをしているのかよくわからないが、**その動きにあわせた呼び名であることは確かだ**。

(文責:田口正男農学博士)

Eight-spotted Skimmer  
(カナダの教え子Sさん提供:  
ヤツボシトンボといったところか)



## (シリーズ) トンボみちの仲間たち

7月23日(土)のファンクラブ活動の様子です。(撮影:柴田代表)



公道の草取り



遊歩道のクズ退治



ヒマワリ



バターナッツとメキシコ  
かぼちゃを収穫



キチャハツ



ホウロクタケ



ファンクラブのみなさん

**活動予定** ※雨天は1週間延期  
 今月: 8月27日(土) 8時~10時  
 来月: 9月24日(土) 9時~11時  
 事前の申込みは不要です。誰でも参加可能!  
 公式ホームページをご覧ください

トンボみちファンクラブ

検索

JFEトンボみち ファンクラブ通信 2016年8月号  
 発行日: 2016年8月24日  
 発行者: トンボみちファンクラブ  
 連絡先: ファンクラブ代表 柴田 090-4627-8821  
 ◆ファンクラブ通信への自由投稿をお待ちしています

※「JFEトンボみち」はJFEエンジニアリング(株)が地域の皆様に開放している公開緑地です



京浜の森ロゴマーク